

東亜同文書院大学と『中日大辞典』

一九五〇年頃、もう一件、島田政雄さんから懇願されていたことがある。それは、日本の敗戦とともに廃校になった上海の東亜同文書院大学が、中日辞典を編纂するため何年もかかって蒐集していた「中国語カード」をなんとか探し出し、日本に返却してほしいとのことであった。この大学の資産や所蔵図書は国民政府に接收され、「中国語カード」も国外持出し許可されなかったという。

私は郭沫若さんに相談し、カードがどこに保管されているか調べて回った。接收した機関は国民政府教育部京滬区特派員弁公処で、そのトップが蔣復璁、次官が鄭振鐸。人民中国誕生後もカードを保管していたのは、『書物を焼くの記事』（一九五四年、岩波新書）を書いた作家の鄭振鐸だった。鄭は新中国誕生後は文化部副部长になっていた。……「困ったな」と思った。

鄭振鐸との交渉に尽力してくれたのは、このときも姚蓬子だった。彼は国民党関係者に顔が広がったから。

私は返還について意見を求められるごとに「中国語を理解する日本人がもつと増えれば、これからの両国の交流に多大な貢献となる。良い辞典は語学学習に必須だ。だから返した方がよい」と主張したが、関係者の間には「カードは返さずに、中国の商務印書館から辞典を出版してしまおう」との意見も存在し、返還手続きは難航した。最終的な政治判断を下したのは、国際新聞局局長・喬冠華だ。彼が許可し、日本に返却することが正式に決定した。一九五四年秋、カードは木箱に梱包して、邦人引揚船の興安丸に積載し、日本に向かった。話を持ち込まれてから返還まで、実に四年の歳月を費やした。大分経ってから、返還した「中国語カード」をもとに愛知大学が編集し、出版した『中日大辞典』が私宛に送られてきた。嬉しかった。

〔注〕水谷尚子「康大川回想録」六、中華人民共和国の成立(続)。「東方」NO.291 (東方書店) 所載。

康大川さんのこと

そのために日本に関する情報や資料が必要です。そこで日中間で資料の相互交換を最初に始めたのが康大川さんからです。その後、その仕事は中連部に回り、ぼくが康さんの資料交換の仕事を引き受けることになりました。康さんはのちにぼくらと『毛沢東選書』の編訳委員会にも参加しています。

康大川氏とは昨年九月と年末年始の北京でのインタビューでお会いした。彼は重慶国民政府の郭沫若の下で鹿地亘に協力して日本軍兵士の捕虜管理の仕事をしてきた人である。戦後、共産党系の新四軍に入り解放戦争を戦った。新中国成立後、国際新聞局（局長は後に外務大臣になった喬冠華）に呼ばれて北京に来て、中共の宣伝部の仕事をするかたわら、当時非合法だった日本との新聞雑誌の交換などに努力した。康氏のお話では、一九五一年にこの仕事を趙氏に引き継いだという。またこれに協力した日本側の人物は島田政雄、小沢正元、赤津益造氏らである。

〔注〕雑誌「世界」一九九八年十月号所載「趙安博回想録」（姫田光義・水谷尚子）による。趙氏は留日学生の一。抗日戦争中は延安の日本人労農学校の副校長を務めた。

鈴木先生

日本に滞在中は色々とお世話様になり、此の夏は又「中部日本」の鈴木先生に託し、御丁寧なるお手紙を拝収したにもかかわらず、今日まで御無沙汰に打ち過ぎて誠に済みません。

御入用の字典編集用資料は早速「対外文化協会」へ連絡し、御希望に添えるよう鋭意準備中と思いますが、私も方々当たって見、友人の斡旋で「語文」雑誌のバックナンバ―を入手しましたので日中友好の能智先生の吉便に託してお届けしましたから既にお受取りのほどと思います。

字典の編集は順調に進捗中と思いますが・・・
ではお知らせまでに・・・

敬具

愛知大学の皆様によろしく

康大川 敬上

(一九五五年)十月二四日

〔注〕鈴木教授宛 康大川「人民中国」編集長の書信。鈴木先生とは中日新聞社鈴木充氏。能智先生とは日本中国友好協会理事能智修弥氏。

康大川先生

前蒙惠贈、交能智先生带回の「中国語文」、有一个时期莫明它的下落、经能知先生费心调查、才明白它混在歌舞伎演员团的行李里面、由歌舞伎团送交中国研究所收藏、现在已经由能智先生收回、再转交我们了。我这儿对您表示深切的谢意。

再者、该「中国語文」是从创刊号起、以至于第三年十二月号共三全年份。其中大部分是敝处所缺、而且现在是绝对买不到的贵重文献、我们翻在手中、真觉得又感谢又高兴！
敬祝

健康！

爱知大学华日辞典编纂处

铃木 木 择 郎

一九五六・四・一六

訳文

能智先生に託されお贈り下さった「中国語文」は、暫時所在が不明となっております。た所、能智先生のご苦心により歌舞伎団員の荷物に混入し、そこから中国研究所へ送られていることが判明いたし、この程当方に到着いたしました。まことに有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、この「中国語文」創刊号から第三年十二月号まで全冊揃いであり、当編纂処の欠号はこれで全て充足いたしました。現在となつては絶対に購入できない重要文献であり、まことよろこばしく御礼申し上げます。

〔注〕康大川氏への返信。

鈴木擇郎先生：

「人民中国」日文版編輯部康大川先生轉來您一九五五年七月十八日寫給他的信，并委託我們供給您在編輯華日辭典時所需的各項參考資料。

我們在一月中旬已初步寄贈您下列資料（一）「中國語文」（一～十五期），（二）「北京口語語法」，（三）「同音字典」，（四）「常用漢字三五〇〇字表」，（五）「簡明字匯」・至于其他資料，我們還在繼續蒐集中，俟蒐集齊后，當另郵寄上。

此致

友誼的問好

中國人民對外文化協會

資料交換處

一九五六年二月十六日

譯文

「人民中国」日文版編輯部康大川先生からこの程華日辞典編輯の為に必要な参考資料が欲しい旨の一九五五年七月十八日付貴信が転送されてきました。

当会は一月中旬から（一）「中国語文」（一～十五期）、（二）「北京口語語法」、（三）「同音字典」、（四）「常用漢字三五〇〇字表」、（五）「簡明字彙」を順次お贈りしております。その他の資料も引き続き探しており、集まり次第郵送いたします。

〔注〕鈴木教授宛 中国對外文化協會の書信。